平成24年11月14日

各 位

上場会社名　太洋物産株式会社
代表者　代表取締役社長 柏原　滋
（コード番号　9941）
問合せ先責任者　執行役員　総務部ジェネラルマネージャー 宮内　敏雄
（TEL　03-5333-8080）

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年５月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年9月期通期個別業績予想数値の修正（平成23年10月1日～平成24年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	―	―	―	―	―
今回修正予想(B)	19,224	△153	△298	△312	△27.82
増減額(B-A)	―	―	―	―	
増減率(%)	―	―	―	―	
(ご参考)前期実績 (平成23年9月期)	28,399	△329	△597	39	4.13

修正の理由

第72期事業年度における我が国の経済は、ユーロ圏の債務問題が世界経済に不安要素を残し、海外の景気動向には依然として警戒を要しましたが、円高が一服し輸出関連産業の情況が好転したことから、企業の設備投資も増加傾向となり、景気の上向きが感じられる状況となりましたものの、第４四半期会計期間に生じました韓国、中国との領有権に関わる政治的問題の影響で一挙に輸出が冷え込み、経済に停滞感が生じる状況で期末を迎えました。

このような環境下、当社は畜産物を中心としました営業戦略を積極的に推し進め、良質な商品の調達と顧客ニーズへのキメ細かい対応を行う営業活動を進めてまいりましたが、当社主力商品である鶏肉におきまして、前事業年度より続きました国内在庫の過剰感の解消に期間を要し、また、デフレ感から価格も低迷する傾向にあったことから、その販売に大きな影響を受けました。海外から輸入している加工食品につきましては、顧客への新規提案商品が徐々に実を結び、着実に推移させることができました。中国向け産業用車輌の輸出につきましては、中国経済の不透明感の中での営業を強いられ、また、期末に生じました政治的問題の影響もあり低迷を余儀なくされました。

この結果、当事業年度における売上高は、資金の効率化と収益の向上を目的とした事業及び取扱商品の見直しの一環で、農産物、特に大量に扱ってまいりました北アメリカ産大豆と菜種の輸入等を休止していることもあり、192億24百万円（前事業年度比32.3%減）となり、営業損失は1億53百万円（前事業年度は、営業損失3億29百万円）、経常損失は2億98百万円（前事業年度は、経常損失5億97百万円）、当期純損失3億12百万円（前事業年度は、当期純利益39百万円）、その結果、純資産が△1億86百万円の債務超過を予想しております。

（注）上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであります。最終の業績は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上